

## 第134回リニアドライブ技術委員会議事録（案）

日時：平成25年4月26日(金) 1340～16:30

場所：JR 東海品川ビルA棟会議室

出席者：委員長 北野（JR東海）

副委員長 水野（信州大）

委員 上田（東芝）、江澤（キヤノン、小林委代理）、海老原（IEEJプロ）

古関（東京大）、白石（安川電機）、長谷川（鉄道総研）

横井（長崎大、樋口代理）、脇若（信州大）、渡邊（IEEJプロ）

幹事 鳥居（東京都市大）

オブザーバ 藤崎（豊田工大）、渡邊（東工大）

幹事補佐 和多田（東京都市大）、矢島（SMC）（記）

（16名）

### 提出資料

134-1 第134回リニアドライブ技術委員会議事録（案）（矢島幹事補佐）

134-2 リニアドライブ技術委員会名簿（矢島幹事補佐）

134-3 平成25年電気学会産業応用部門全国大会 シンポジウムテーマ・オーガナイズドセッション 提案再度お願い（北野委員長）

134-4 リニアドライブ技術関連カレンダー（矢島幹事補佐）

134-5 委員会構成員変更届（江澤代理）

134-6 電気学会 マグネティックス/リニアドライブ合同研究会（2013年2月）のご案内（矢島幹事補佐）

134-7 「製品・技術紹介セッション」の講演募集案内（矢島幹事補佐）

134-8 産業用リニアドライブ技術の応用展開調査専門委員会 活動方針及び報告書（江澤代理）

134-9 2013年2月リニアドライブ研究会 開催報告（江澤代理）

134-10 電磁アクチュエータのための磁性材料・評価技術調査専門委員会 設置趣意書（案）（藤崎オブザーバ）

134-11 産業用リニアドライブ技術の応用展開調査専門委員会（MEL）活動報告（江澤代理）

134-12 第6回 産業用リニアドライブ技術の応用展開調査専門委員会 議事録（江澤代理）

134-13 第7回 産業用リニアドライブ技術の応用展開調査専門委員会 議事録（案）（江澤代理）

134-14 平成24年度 第4回 D部門研究調査運営委員会 議事録（案）（長谷川委員）

134-15 電気学会 リニアドライブ研究会の（10月）ご案内（上田委員）

134-16 多自由度新世代アクチュエータの性能評価調査専門委員会（MDD）活動報告（上田委員）

134-17 第6回 多自由度新世代アクチュエータの性能評価調査専門委員会 議事録（上田委員）

134-18 第7回 多自由度新世代アクチュエータの性能評価調査専門委員会 議事録（上田委員）

### 議事

#### 1. 議事録確認

資料134-1を基に、矢島幹事補佐から第134回委員会の議事録が確認された。藤崎先生の所属を修正のうえ承認された。

#### 2. 報告事項

2.1 資料134-2を基に、矢島幹事補佐から、LD技委の名簿の確認があった。

2.2 資料134-14を基に、長谷川委員から3月11日に開催された第110回（H24年度第4回）産業応用部門研究調査運営委員会について説明がされた。調査専門委員会の正員比率は80%以上、共同委員会は正員比率の下限はないことが確認された。また、2012年8月に出版された前MEL委の技術報告書が提出されていないことになっており、委員長から連絡する。

2.3 資料134-4を基に、リニアドライブ関連の研究会や国際会議などについて確認された。TER・LD合同研究会（平泉）が8/1・2に開催される。12月のLD研究会はロケット見学を含めて種子島を予定している。

2.4 資料134-5を基に、江澤代理からMEL委の委員交代・追加について説明があった。

2.5 資料134-6を基に、矢島幹事補佐から6月に開催されるMAG・LD合同研究会の案内があった。

2.6 資料134-8を基に、江澤代理から年度末に電気学会事務局へ提出した「産業用リニアドライブ技術

の応用展開調査専門委員会 活動方針及び報告書」について説明があった。

- 2.7 資料 134-9 を基に、矢島幹事補佐から 2 月に開催された LD 研究会の開催報告が説明された。21 件の発表があり、参加者数は合計 45 名。
- 2.8 資料 134-15 を基に、上田委員から LD 研究会（10 月、北大）の案内があった。

### 3. 審議事項

- 3.1 資料 134-3 を基に、北野委員長から平成 25 年電気学会産業応用部門大会のオーガナイズドセッションについて募集が来ていることが説明された。今回、MLV 委からシンポジウムを提案しており（採択済、8/30 午後開催）、今回は見送ることになった。北野委員長から、いいタイミングがあれば、やっていきたいとのコメントがあった。
- 3.2 資料 134-4 の報告の際、TER・LD 合同研究会（平泉、8 月）において、LD 側からの発表が少ない（難しい）ことが指摘された。今年は特に動員をかけて発表を集め、発表件数をみて今後どうしていくか検討する。
- 3.3 資料 134-4 の報告の際、平成 27 年に開催される「電磁力関連のダイナミクス」シンポジウムは電気学会が担当していることが確認され、（平田先生を軸に）体制を整えていくことになった。
- 3.4 資料 134-5 を基に、江澤代理から MEL 委の委員長交代について説明され、承認された。上部委員会の承認は不要であることが確認され、北野委員長から上部委員会に報告していただく。
- 3.5 資料 134-7 を基に、矢島幹事補佐から、フルードパワーシステム学会が平成 25 年春季フルードパワーシステム講演会で行なわれる「製品・技術紹介セッション」について紹介があった。リニアドライブ関連の発表がある、電気学会でやってもおもしろい、などの意見があり、矢島幹事補佐が実施を検討することになった。
- 3.6 資料 134-10 を基に、藤崎オブザーバから、新規に発足する「電磁アクチュエータのための磁性材料・評価技術調査専門委員会」（藤崎委員長）の設置趣意書（案）が説明された。審議の結果、調査専門委員会として、調査期間を 3 年として発足することが決定した。設置趣意書の内容は藤崎委員長に一任する。今後メール審議とし、年内設置を目処に進める。
- 3.7 資料 134-16 の報告の際、上田委員から MDD 委で行なっている web 会議の通信費（Skype グループビデオ使用料や WiMAX 使用料など）を電気学会で補助して欲しいという依頼があり、通信費を会議費として事務局に請求してよいことが確認された。
- 3.8 TER 技委の委員長が中村先生から渡邊先生に交代することに伴い、LD 技委の委員も中村先生から渡邊先生に交代する。

### 4. 各調査専門委員会活動報告

資料 134-11～資料 134-13、資料 134-16～資料 134-18 を用いて、各調査専門委員会から活動報告があった。

以上